



## スロバキア共和国 Slovak Republic



### たばこ産業の特徴

1. 年間消費規模は約150億本前後。
2. 年間製造数量は119億本。
3. チェコとの関税協定により年間40億本が輸入されている。
4. Philip Morrisがシェアの55%を占めている。
5. 国内メーカーは旧Rothmans系のSlovak International Tobak (SIT)がある。

### [1] 法規制等

- ・健康注意表示：  
包かへの健康注意表示が必要。  
包かにはタールとニコチン量を記載しなければならない。
- ・喫煙規制：  
公共輸送機関、病院は喫煙禁止(但し喫煙室内は可)。  
職場、公共の場所は喫煙が制限されている。  
航空機内は禁煙。  
学校は喫煙禁止。  
政府建物は喫煙規制。  
レストラン、バーでは喫煙が制限されている。
- ・広告規制：  
テレビ、ラジオ、映画、新聞・雑誌、ビルボードは禁止。  
POP広告は禁止。
- ・販売規制：  
未成年者のたばこ製品購入は禁止。  
サンプリング、自動販売機は禁止。  
場所、施設によりシガレットの販売が禁止されている。  
バラ売り禁止。

### [2] 税制

物品税：70mm以下14コルナ/包か、70mm以上19コルナ/包か  
販売税：23%  
関税：58.3% (但しチェコからの輸入シガレットは税率10%)  
(出典 ERC)

2002年1月1日に税改訂により物品税率は32%増税された。  
スロバキアはEU加盟による税制統一について5年間の猶予を求めている。

### [3] 喫煙者プロフィール

1人当たり年間喫煙本数 2,039本 (1992～2000年平均)

15歳以上の1人当たり喫煙本数(1998年)		若者(15～16歳)の喫煙率(1999年)	
男性	41.1%	男児	35%
女性	14.7%	女児	26%
計	32.0%	計	30%

### [4] 市場概況

- ・スロバキアの年間消費数量は過去5年間、約150億本前後で安定している。
- ・スロバキアのシガレット製造数量は最近5年間、年間119億本で比較的安定している。
- ・1993年のチェコとスロバキアの分離以降、両国間には無関税協定により貿易が行われている。スロバキアへ輸入される年間40億本の大部分がチェコから来ている。
- ・Philip Morrisのブランドは過去3年間、スロバキア市場の55%のシェアを得ている。
- ・スロバキアで製造されるシガレットの一部が輸出されているに過ぎないが、大部分はルーマニアとの国境取引である。
- ・増税により安価な“make your own”セグメントが出現している。
- ・ウクライナ、ロシアから密輸されたシガレットが、首都ブラチスラバのたばこスタンドで容易に手に入る状況にある。
- ・2000年の市場シェアはPM Slovakiaが55%、SITが44%、その他1%である(出典ERC)

#### 統計データ

	1995年	1998年	1999年	2000年	2001年
製造本数	10	11.5	11.7	11.3	11.9
輸入本数	3.7	3.9	4.1	3.9	4
輸出本数	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
推定消費本数	13.3	15.1	15.5	14.9	15.5
輸入品シェア%	27.8	25.8	26.5	26.2	25.8

(出典：FAO、FAS/USDA、単位 10 億本)

#### [5] 製品概要

20本当たり小売価格

US製品：0.66USドル、国産製品：35コルナ

#### [6] 企業概要

##### Slovak International Tobak (SIT)：

旧Rothmansが1992年にSITの権利を獲得し、1993年に100%取得した。

本社は首都ブラチスラバにある。5つの工場があり、シガレット、葉巻、細刻、パイプたばこを製造している。

シガレットはSpiddka、Banska、Stiavicaで製造されている。

1990年代末のシェアは75%あったが、現在は44%。Dalia、Marsが主力製品。